



前線に伴う降雨による防災情報 (第2報)

新庄河川事務所では、前線に伴う降雨により8月9日12時50分に、最上川の古口水位観測所で3.27mとなり、今後水防団待機水位を越えなお水位の上昇が見込まれることから、8月9日12時50分に災害対策支部(河川)「注意体制」を発令しました。
なお、災害対策支部(砂防)は警戒体制継続中です。

1. 事務所体制 【最新の体制】

河川 : 令和2年8月9日(日) 12時50分 注意体制
砂防 : 令和2年8月9日(日) 10時10分 警戒体制

2. 河川水位情報 8月9日 12時50分 現在

河川名	基準水位観測所	水位	状況
最上川中流	古口	3.27	↑上昇中

【水位観測所の基準水位】

水防団 待機水位	氾濫 注意水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位
3.3m	5.5m	8.0m	8.2m

3. 今後の見通し

今後、新たな情報が入りしだいお知らせします。
今後の気象情報に十分ご注意ください。

「雨量」「水位」等の情報

川の防災情報

下記のサイトからもご覧いただけます。

パソコンから <http://www.river.go.jp/>

携帯電話から <http://i.river.go.jp/>

問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 〒996-0071 新庄市小田島町5-55 TEL:0233-22-0251(代表)	
河川関係	副所長(河川担当) 川口 滋 (内線204)
砂防関係	副所長(砂防担当) 木村 晃 (内線205)